

【教育、「人づくり」について】

K： 教育の問題ですが、やっぱり教育っていうのは、「人づくり」ということになってきますので、しつけ教育とか徳育教育というのがベースになると思います。社員採用したときに、もう1回社員の対応姿勢などについて再教育をしないといけないところがどうしても生まれてくる。試験していい採点で入ってきているにも関わらず、人とのコミュニケーションとか人とのつながりがなかなかできない人が多い、もう1回人としてどう生きるかということを経験させてやるということに関しての知事のお考えを聞かせていただきたいと思います。

知事： さっき工場を見学させていただいて感心しましたが、皆さんが自ら挨拶されるということを実践していることが、素晴らしいなと思いましたし、本当に皆様方が社員の教育ということで一生懸命やっておられるんだなというのを、本当に実感をさせていただいて、感心をしたところです。

高校生ぐらいになったときに、そこら辺りのところについてしっかりと話をする。しつけ、もっと言えばさらにその奥にある、人としてのお互いを尊重しあうことが重要だと思うんです。

それから、すごく危機的なところにあるんじゃないかなと思っているところは、子どもたちが自尊心が持てるような状況なのかなというところすごく心配です。さっき学力テストが全国で46番と言いましたが、その中身を見ますと、「 $3X + Y = 6$ 、これをYについて解きなさい」とか、「 $4 \times (-3) =$ 」という問題があって、中学3年生で前者のできなかった子どもが6割、後者のほうのできなかった子が4割です。ということは、中学校3年間全く数学というものが分かってない子がかなりいるということです。

すると学校行っても面白くない、つまらない。不登校とかいじめが全国ナンバー1というのと、そのところはやっぱり表裏一体なんじゃないか。一生懸命取り組めば、「成せば成る」みたいなのが、なかなか見えてこない。そういう中で子どもたちが一生懸命物事に取り組もうということに至らない。結果として、だから体力テストなんかも全国最下位なんじゃないかと。そういうところが一連で全部関連しているんじゃないかなという思いがすごくあります。

体力テストの中身を細かく分析すると、子ども同士でボールを投げるような競争はそんなに悪くない、全国平均ぐらいです。ただ、トラックをずっと何週もしましょう、タイムトライアルみたいな、最後まで根性入れて走りきらないといけないというのが如実に低い、最下位です。

ただ、これは一生懸命やったらあつと言う間に改善して、改善率全国1位です。絶対、やってできないわけじゃない。だけど、分からないのをずっと置いていかれてるそんな中で、だんだん、だんだん投げやりになっていく、「成せば成る」という体験をしないで

中学校、高校時代を過ごしていく、自尊感情が生まれず、結局、他尊感情も生まれてこないというような悪循環に陥ってないかということをしごく心配して居るんです。

ですので、進学率を上げるとかじゃなくて、少なくとも基礎的なレベルの学力というのをしっかりつけていくことで、だんだん勉強がおもしろくなってきたとか、一生懸命やろう、気がついたらやればできるという気持ちになってくるような、そういう点を学力でも、部活でも、日ごろの生活もいい循環にまわしていくきっかけにしたいと思っております。そういう意味においても取り組みをしっかり進めていくことが重要だと思っております。

もちろん、従前なかなか取り組めなかったことですが、今年から德育についても、中澤教育長も思い切ってやっていこうということで、全体としての教育成果で、いいスパイラルというのが作りだせるようにしていきたいと思っております。